

平成30年10月23日
生涯学習課青少年教育係
内線：4668

(別記様式3)

指定管理者による公の施設の管理運営状況(平成29年度)

施設名	群馬県青少年会館	所管課	教育委員会生涯学習課
指定管理者名	公益財団法人 群馬県青少年育成事業団	指定期間	3年
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 一部導入 <input type="checkbox"/> なし		H29.4.1 ~ H32.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	前橋市荒牧町2番地12
指定管理業務内容	・群馬県青少年会館の管理及び運営 ・青少年健全育成事業の実施

2 職員の状況(29年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	10人(うち障害者 人)		
短時間雇用の職員:	0人(うち障害者 人)	合計:	10人(うち障害者 0人)

※公表時には、(うち障害者 人)を削除します

3 収支の状況(29年度決算額)

収 入		支 出	
指定管理料	65,824,920	人件費	53,756,212
利用料収入	11,814,835	委託料	4,438,543
事業参加者負担金収入	184,340	光熱水費	7,343,822
自主事業収入	1,398,949	租税公課費	4,153,465
		その他(管理運営費等)	7,117,857
		自主事業支出	1,398,949
収入合計	79,223,044	支出合計	78,208,848

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	29年度(末実績)	(参考)28年度(実績)	(参考)27年度(実績)
①年間利用者数(人)	46,401	47,631	44,815
②使用料収入(円) (県納付額)	-	-	-
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	11,814,835	11,952,470	10,003,515

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
青少年指導者専門講座	2月10日 11日 12日	延べ67名 (募集定員30名)	・地域公民館や青少年教育施設担当者、青少年団体関係者等を対象に、専門的な知識・技能を身につけて、指導者として地域の活性化に寄与できる人材の育成を図る。 ・【主な内容】 「あそびの“わくわく度”を高める大人の関わり方」「プログラムの“はじめ方”と“まとめ方”」「個性を引き出すコミュニケーション術」「子どものココロを開く話し方&聴き方」	・講義だけでなく、実際の体験・実技を通してのセミナーだったので、学びを深めることができた。自らが身体を使い、声を出して学ぶものは大きい。1人ではなく、セミナー参加者同士で交流を深められるようなグループ活動があったのも良かった。 ・このセミナーはスピード感があり、とても気持ちのがつてくる。講師の方々も身近に感じられ、質問しやすい雰囲気である。

【新規】 リーダー指導者研修会	2月25日	6名 (募集定員10名)	・地域の青少年活動や青少年団体活動に情熱を持ち、団体のリーダーとして今後の活動が期待される指導者に対し、より専門的な知識・技能等を習得するための講座を実施し、地域活動指導者の資質の向上に寄与する。 【主な内容】 「テーマに沿い、講義・個人ワーク・意見交換・情報交換を実施」	・リーダーを務める際、団体を強化するための方法を丁寧に解説してもらえたので、困難に当たった時は、今回学んだことを思い出したい。 ・これからの活動に向けて、方向性を考えさせられる内容だった。様々な立場の方と交流ができ、楽しかった
市町村青少年教育担当者研修会	6月28日	18名 (募集定員30名)	市町村における公民館等での青少年育成事業を充実させるため、公民館、青少年教育施設担当者、青少年団体関係者等を対象に研修や情報交換を行った。 【主な内容】 ・接客マナー等の接遇、参加者が抱える課題等の協議	・座学ばかりでなく、レクなどもあったので参加者で交流ができた。 ・接客で間違った対応をしていたことに気づいた。 ・思いやりや温かみのある対応ができるよう心がけたい。 ・お詫びで使われるキーワードとタイミングついてあらためて考えさせられた。
ボランティア体験講習会	5月27日 28日 ※修了式は1月実施(降雪のため中止)	延べ46名 (募集定員20名)	・地域社会における青少年を対象としたボランティア活動を推進する。 ・県内の大学生、短大生及び専門学校生に対し、ボランティア活動についての理解やリーダーとしての知識・技能等を習得させる。 ・受講生にボランティア活動を実践する場を設ける。	・レクリエーション等グループワークが多く、初対面の人と自然にコミュニケーションをとるよい機会でした。 ・実践的な内容が多く、実際に子どもと関わる上で非常に役立つ講義だった。大学の講義では理論的なことを学ぶことが多いが、今回は自ら実践する中で身につけることができた。
【新規】 中学生・高校生交流ボランティア体験	8月19日 8月20日	17名 (募集定員20名)	早期にボランティア活動への理解と継続した活動を推進するために、ボランティアを体験する講座を行った。 【主な内容】 「レクリエーションでの仲間づくり」や「活動の時に役立つコミュニケーション法」、「ボランティア活動のポイント」、「地域イベントの魅力」 ボランティア活動(ホリデーインまえばし)	・初めはきちんとできるか心配で少し緊張していたが、やっているうちにすごく楽しく緊張が解けた。 ・小さい子とたくさん触れ合うことができ、とても楽しかった。将来の夢に近づけたように思う。 ・子どもたちが笑顔でお礼を言ってくると、すごくうれしかった。 ・最初は緊張していて、小さい子に教えるのも上手にできなかったが、だんだん慣れてきて分かりやすく教えることができたと思う。
体験活動・ボランティア活動支援センター	通年	相談件数 5件 ボランティア参加者数12名	地域や団体・学校等でボランティア人材を必要とする依頼者と、ボランティア活動を希望する青少年や指導者とのコーディネートを行った。	【依頼者の感想】 ・紹介していただいた指導者は、子どもへの関わり方が素晴らしいと感じた。 ・こちらの要望に応じてくれる内容で、ありがたい。 ・子ども達は、学校だけでは育てられないので、このような機会は重要である。 【協力者の感想】 ・普段の学校生活では体験できない事を学ぶ機会をいただいた。スタッフの方が子どもに接する姿を見ることにより、コミュニケーションのとり方を学ぶことができた(中学生) ・日中は活動できないため、夜間の活動を紹介していただき、ありがたかった(青少年団体会員) ・高校生達とコミュニケーションをとりながら講義をすることができた。青少年団体の活動に興味を持ってもらえる機会になるので、今後もボランティア関連の講師依頼があれば、積極的に引き受けたい。(青少年団体会員)
ふれあい・ゆうあい交流フェスタ	実行委員会 6月14日 8月23日 9月27日 11月1日(全4回) 事前研修 10月14日 当日 10月15日	延べ1,113名 (ボランティアスタッフ含む)	・心のバリアフリーと障害者への温かな社会の実現を目指して、ともにふれあい、活動する楽しさを体験すると共にボランティア活動の促進を図る。 【主な内容】 ・参加団体によるステージ発表やパネル展示 ・中学生以上のボランティアによる介助や体験コーナー・バザー・模擬店等	・初めて参加しましたが、すごく楽しかった。また参加したい。この活動を通じて将来の夢が決まった気がしました。すごくいい体験ができました。 ・障がいのある子と関わったことがなかったけれど、今回のボランティアを通していい経験になった。 ・各実行委員が事前に配置されたボランティアの動きを把握していた。人手不足の係を互いに助け合う動きがとれたので、進行がスムーズだったし、ボランティアのやる気が途絶えることなく終了できた。

親子ふれあい会館 ロッジ	I 7月22日 ~23日 II 8月5日 ~6日	I 42名 (募集定員 15組30名) II 22名 (募集定員 15組30名)	青少年会館に宿泊し、時間をかけた共同・協力作業を行うことにより、親子のふれあいや参加者同士の交流を深め、新たな人間関係の構築を図る。 【主な内容】 ・陶芸(I) ・木工(II)	・日頃見られない子どもの様子、学ぶ様子が見られてよかった。 ・初めての参加で不安がありましたが、職員の方々の親切さ、説明の丁寧さ、食事のおいしさ、寝る部屋の快適さと、全て不安なく楽しむことができました。子ども同士で大部屋に泊まることも少ないので、友だちと楽しく遊べ、満足そうでした。
【新規】 国際交流推進事業	12月2日 ~3日	24名 (募集定員20名) ※申込は146名	本事業のプログラムを通して、他国文化の魅力や違いを感じ取ると共に、自国を見つめ直す機会を提供する。また、青少年会館に宿泊し、時間をかけた活動を行うことにより、外国人講師とのふれあいや参加者同士の交流を深め、コミュニケーション力を高める。 【主な内容】 ・ヨーロッパの文化に親しむ ・アジアの文化に親しむ	・外国の人との交流と、外国の文化を聞くという目標だけでなく、新しい友だちもできて楽しかった。また、外国の食べ物を食べられてよかった。 ・ヨーロッパの伝統的な踊りを踊った。リズムや足を滑らせる所が難しかった。 ・中国結びは簡単そうに見えたけれど、とても難しかった。でも、友だちと2日間本当に楽しく過ごせた。
青少年団体活動支援事業	通年 8月6日 (夏休み宿題お助け隊) 1月14日 (親子餅つき体験)	宿題お助け隊 小学生84名、保護者・スタッフ17名 親子もちつき体験 親子49名 (募集定員50名程度)	青少年会館を拠点として活動する群青連協加盟団体の充実を図るため、担当職員を配置して支援・連携を図るとともに、加盟団体のメンバーを当事業団主催事業の講師や補助指導者として積極的に活用する。 【活動内容】 ・群青連協事業運営委員会の出席 ・ボーイスカウト主催事業への係員協力 ・群馬青友会活動展の会場提供 ・県子青連上毛カルタ大会係員協力 青少年の健全育成活動を行っている団体と協力し、体験活動を通して子ども達の創造力や社会性を育むとともに、親子での協働作業や共通体験により、親子の「きずな」を深める。 【主な活動】 ・青少年団体、関係団体との連携強化を図る。 ・団体と連携して子どもの夏休みの宿題を支援することで、子どもの社会性を育てる。 ・親子一緒にもちつき体験を通して、親子の絆を深める。	・職員の助言により青少年会館を有効に使うことができた。(団体関係者) ・会場の庶務を担当してもらえたので、事業の作業効率があっ上がった(団体関係者) ○夏休み宿題お助け隊 ・子どもからは、「楽しく学習できた」「分かりやすく教えてもらった」「課題が全部終わってよかった」「来年も来たいです」など ・保護者からは、「家ではなかなか進みませんが、周りの友だちに影響され、スタッフにも指導していただけて、自分から進んでできたようです。」「集中して楽しく取り組めたのでよかった」など ○親子餅つき体験 ・子どもからは、「もちがおいしかった」「きねが重たくてたいへんだった」「もちつきをあまりやったことがないので、今日できてよかった」など ・保護者からは、「初めて参加しましたが、ここまで充実したイベントだとは思っておらず、貴重な体験ができました。」「蒸かした所から餅に変化し食べられるのは、よい経験でした。」「餅米とお餅の食べ比べができてよかったです」など
青少年関係情報提供システム「ぐんま青少年ねっと」	通年	学習情報コーナー 延べ329名	青少年育成に関する研修及びボランティアや団体活動等の情報を収集すると共に、インターネットや常設のパソコンコーナー等の情報機器を活用して、積極的に情報を発信した。 【主な内容】 ・ウェブページのリニューアル・日常管理 ・学習情報コーナーの管理 ・facebookページによる情報発信 ・当館ブログによる情報発信 ・館内LANを利用したモニターカメラ	・当館ホームページの閲覧による施設利用および主催事業の間合せが多い。また、施設案内や事業内容などを明確に伝えているため、対象者にとって有益な情報として活用されている。 ・フェイスブックの活用は、特に青年層に向けた情報において効果的である。 ・ブログの記載内容は、facebookページにリンクを貼っているため、より多くの方に情報を発信している。 ・学校の長期休業時期は、学習情報コーナーの利用者(中学生・高校生など)が多い。
青年地域活動支援事業(自主事業)	12月16日 おやこで茶道教室 3月17日 ボランティアのつどい	おやこで茶道教室 22名 ※申込は49名 ボランティアのつどい 約100名(小学生以下) 47名(ボランティア)	青年団体及び青年の活動を支援し、事業団との連携を前提としたネットワーク作りを試みる。また、青年団体と共催(または後援)で事業を行い、情報発信や支援を行う。 【主な内容】 ・おやこで茶道教室 ・ボランティアのつどい	・親子で楽しんでもらうこと、茶道を気軽に楽しんでもらうために工夫した。 ・ボランティアの輪を広げ、後継者育成のために成功させたい

婚活支援事業(自主事業)	3月11日	独身青年 25名	結婚を希望する独身男女に対し、青年に視点を合わせたプログラムを行いながら出会いの場を提供する。 【主な内容】 ・希望する女性に対してのメイク講座 ・レクリエーション ・話し合いタイム	・グループゲームが全員参加なので、とてもよかった。 ・スタッフの方々の明るさにとっても感動した。私もこの活動グループに入りたいと思った。 ・ただ話をするだけではなく、レクリエーションを通して、その人の人柄などを知ることができて楽しかった。
青少年会館友の会育成事業(自主事業)	友の会の活動 6/18,7/9,8/8 8/27,10/14, 10/15,11/25 ゆめスクールユニットの活動 10/1,10/22, 11/12,11/26 12/10,12/17	友の会の活動 延べ21名(ボランティア) ゆめスクールユニットの活動 延べ996名(児童)、101名(ボランティア)	青少年会館を拠点とするボランティア団体「青少年会館友の会」の活動を支援し、会員に各事業におけるボランティア・講師として実践する機会を提供する。 【主な内容】 ・バルーンアートで楽しもう ・ゆめすくーる(実施 10月～) ・青少年会館の事業ボランティア ・宿題お助け隊	・研修をボランティア活動に生かすことができた。 ・ボランティア仲間の裾野が広がりにそうなので今後も継続して欲しい。 ・レク指導者の養成講座があれば参加してみたい。 ・自分が企画や当日担当したプログラムが成功すると嬉しい。 ・活動に参加することで、自分のスキルを磨く気持ちが高まった。また、会員間の交流を深めたり、他者のスキルを学べる良い機会になった。
青少年ふれあい居場所づくり事業(自主事業)	1階学習情報コーナー 通年 学習室開放 7/21～8/31 12/23～1/8	学習室開放 延べ154名 1階交流スペース 延べ594名	小・中・高・大学生等を対象に自主的な学習活動等の居場所を提供する。 【主な内容】 ・学習室開放 ・館内外の環境整備	・静かで勉強がはかどり、ぜひまた利用したい。これからも続けて欲しい。 ・人が少なくリラックスして勉強に取り組めた。 ・自宅の近所で利用しやすい。 ・ふざけたりしている人がいて集中できない。職員の見回り回数を増やして欲しい。
【新規】 夏休みキッズスクール(自主事業)	8月7日 ～10日	4日間延べ 110名 (募集定員30名)	児童対象に青年ボランティアによる学習支援と青少年団体や社会教育団体等と協力したプログラムを実施する。なお、子どもの体験活動促進と夏休み期間中の家庭の負担軽減となるよう企画・立案に工夫する。 【主な内容】 午前:学習チャレンジ 児童の夏休みの宿題をボランティアが見守った。 午後:思いっきりプログラム 日替わりの体験活動を行った。青少年の体験活動に理解のある団体関係者等が講師を務めた。	☆また参加したいですか… また参加したい(19) 参加したくない(0) わからない(5) ※また参加したい理由:友達がかきた、楽しくていっぱい勉強できた等 ・低学年の学習を見守ることが大変だった。出歩く子どもの対応が難しかった。 ・全学年で楽しめるようにバランスに気を遣った。 ・クラフトでは補助がうまくできなかった。 ・活動が苦手な子どもに配慮が必要だと感じた。 ・大人が予想しないような子どもの行動をたくさん見かけた。貴重な経験になった。
高校生のための写真講座(自主事業)	9月9日 ～10日	34名 (募集定員45名)	1泊2日の日程でデジタル写真の撮影・画像処理の知識・技能を高めるとともに、組写真の共同制作を通して交流を図る。 【撮影場所】伊香保温泉・水沢観音・渋川市を通る上越線	・個人では撮影できないものを撮ることができました。他校の人が撮った写真を見て、こんな撮り方があるのだなと思うなど、新しい発見もありました。 ・撮影会はとても楽しかったです。伊香保温泉や水沢観音、列車など少し遠出をしなければ撮れないものが撮れてよい経験になりました。
会館利用者のためのプログラム提供(自主事業)	ひのきのお箸づくり 6/18,9/7,10/27 押し花のしおりづくり 8/27 杉板焼き 9/7, 10/27	延べ43名	青少年会館の利用者に活動を紹介し、利用期間中の活動支援をするとともに、青少年の体験活動の理解促進に努めた。 【主な活動】 杉板焼き・お箸づくり、押し花のしおりづくり	・スポーツ少年団の合宿の記念となった。 ・よい思い出ができた。 ・来年も利用したい。

<p>地域連携協力事業 (自主事業)</p>	<p>職場見学小学生6/1 職場体験中学生9/5~7 職場体験高校生8/9,10/26~27 職場体験短大・大学生8/22 大学生の社会教育学習への協力8/30,12/26 ライオンズクエスト2/3,2/4</p>	<p>職場見学小学生12名 職場体験中学生延べ6名 職場体験高校生延べ6名 職場体験等大学生23名 ライオンズクエストワークショップ延べ50名</p>	<p>県内在住の小・中・高校生を対象に、職場見学や職場体験が出来る機会を提供し、実際の活動を理解することにより、望ましい勤労観を育成するとともに就業意識の向上を図った。</p> <p>ライオンズクラブが主催する教職員のためのライオンズクエストワークショップ(学級の仲間づくり、授業づくり等)の共催者として関わり、教職員の指導技術の向上を図った。</p>	<p>・公共施設は公平な運営のために様々な努力や工夫があるのだとわかった(高校生) ・自分たちの掲示物が青少年会館の役に立って良かった(中学生) ・具体的な説明を聞き、社会教育施設の取り組みがよくわかった(大学生)</p>
<p>青少年自立・再学習支援事業(G-SKY Plan)(委託事業)</p> <p>※指定管理及び自主事業の経費には計上していないもの</p>	<p>合同会議4/14,5/26/2,1,7/13,9/28,12/15,12/20,2/3,3/8 連携会議6/15 進路相談会8/27,10/8,11/26 相談及び体験活動通年</p>	<p>進路相談会参加者延べ115名 年間連絡・相談等1,596名 事業所での体験延べ37名</p>	<p>不登校、非行、ひきこもり、ニートなどの様々な悩みを抱えている青少年のために、相談活動や体験活動とおして立ち直りを支援する。また、再び勉強をしたいという青少年のために、各種情報や勉強場所の提供や学習相談を行う。</p>	<p>○ 進路相談会 ・このような相談会を知らず、どの高校に行けばいいのかわからず悩んでいた。この進路相談会というは大変参考になりました。 ・子どもが不登校だと、学校に在籍していても不登校を抜け出せる情報がなく、今回のこのような機会にここへ参加できてよかったです。今まで、一人でいろいろと探りながら子供の事をしてきましたが、相談できるところを見つけれられて嬉しく思っています。 ○ 体験活動 ・仕事の大変さ、褒められることの嬉しさがよく分かった。優しい人たちに出会えた。自立ができるように頑張っていきたい。 ・後半になるにつれてコミュニケーションを取れるようになった。働く機会を与えてくださり大変感謝しています。今後何かに役立てていきたい。</p>
<p>【新規・文科省モデル事業】</p> <p>青少年自立・再学習支援事業(学びを通じたステップアップ支援促進事業)(委託事業)</p> <p>※指定管理及び自主事業の経費には計上していないもの</p>	<p>業務運営委員会7/14,8/31,11/13,2/9 学習相談事業週6日 学習支援事業週1回、年間35回(青少年会館) 年間20回(会館外) 年間2回(会館での合宿)</p>	<p>電話・メールでの相談延べ408件 面談延べ127人 学習支援参加者延べ87人</p>	<p>学力格差の解消及び高等学校中退者等の進学・就労に資するよう、高校中退者等を対象に高等学校卒業程度の学力の習得を目指し、学習相談及び学習支援を行う。</p> <p>【主な活動内容】 ○ 学習相談事業 ・学びに応じた教科書や副教材のなど学習方法に関する助言 ・高等学校卒業程度認定試験の紹介 ・教育機関(フレックス高校、定時制・通信制高校、高等専修学校等)の紹介 ・修学のための経済的支援の紹介 ・保護者の悩み相談 等 ○ 学習支援事業 ・業務内容 高卒認定試験科目等を中心とした個別支援 ・その他 高卒認定試験前の土日を中心に1泊2日の合宿を2回実施 学習者の居住地域に応じて青少年会館以外の場も提供(年間20回)1日4時間15分程度(高崎労使会館(15回)、伊勢崎赤石会館(5回))</p>	<p>・教えてくれる人がいるので、自分一人でやるべき範囲や教えてもらわなければならないことがはっきりしてきた。これからはより計画的にやる意識が高まった。 ・複雑な問題が増えたので一つの問題を解くのに時間がかかるようになったが、一つ一つ丁寧に教えてもらえるので、問題のイメージがよりはっきり分かるようになった。 ・テストを来週に控え緊張してきました。この勉強会に参加してきた結果が出るように頑張ります。いつも皆さんに優しく迎え入れていただき感謝しています。ありがとうございました。</p>

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

利用者満足度調査については、①施設利用、②青少年健全育成事業でそれぞれ実施している。

①施設利用

(実施期間)

通年で実施した。

(実施方法・回収率等)

施設利用団体代表者へアンケート調査を実施(515通)した。

(項目別回答集計)

・総合的な満足度

満足68% まあ満足21% 普通10% やや不満0% 不満0% わからない0% 未回答1%

・施設の運営(職員対応、料金設定、利用時間の設定)

※5段階評価で5が一番良い

5 69% 4 18% 3 9% 2 1% 1 1% 未回答 2%

・施設の設備(照明の明るさ、清潔度、使いやすさ、案内表示のわかりやすさ、安全性)

※5段階評価で5が一番良い

5 66% 4 22% 3 11% 2 1% 1 0% 未回答 0%

(利用者からの意見等)

満足できたという意見、施設(ハード、運営)に対する要望等が寄せられた。

(調査結果分析)

アンケートの結果を基に、利用しやすい設備、接遇等について分析を行っている。

(調査結果への対応状況)

アンケートの結果を基に、利用しやすい設備、接遇等の改善を行っている。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

対応可能なものについては、迅速に対応した。

②青少年健全育成事業

(実施期間)

事業実施毎に行った。

(実施方法・回収率等)

事業参加者全員にアンケート調査を実施した。

(項目別回答集計)

各事業毎に、内容・満足度・実施時期等についての設問をして集計し、結果分析を行っている。

(利用者からの意見等)

全ての事業で概ね好評であった。

(調査結果分析)

アンケートの実施結果を基に事業実施の内容について精査し、分析を行っている。

(調査結果への対応状況)

課題解決に向けて改善案を検討し、改善に努めている。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

なし

注) 項目は例示であり、調査等の状況に応じて、任意様式で同様の内容を記載して構わない。

7 管理運営状況の評価 (A:優良、B:良好、C:要努力、D:要改善)

評価項目	総合	評価の考え方	評価できる事項及び
総合評価	A	管理運営、施設等の維持管理、事業内容サービス提供や向上の取り組み等について事業計画や仕様書等の内容を上回る成果が見られ、利用者数は過去2番目に多かった。	<p><評価できる事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度新規事業の国際交流推進事業は、定員を超える申込みがあり、県民のニーズを的確に捉えることができたといえる。 ・利用者が快適に過ごせるよう、毎日2回以上館内外を巡視して設備等のチェックを行い、軽微な修繕については職員が対応している。 ・利用者に対し、窓口や電話で適切な対応を取れるように、毎年外部講師を招いた接遇研修を行っている。 <p><改善すべき課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用者のニーズの把握に努め、要望があった場合には、迅速な対応に努めること。 ・引き続き、利用拡大に向けた取り組みを強化すること。

(個別項目ごとの評価)

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	A
管理費用の執行状況	A
管理運営体制	B
法令遵守等	A
労働条件評価の実施	無

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	A
環境問題への取組	A
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	A

(参考) 指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合	評価の考え方
指定管理者の自己評価	A	<p>施設利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施、職員の宿泊体験などにより、利用者のニーズを把握し、利用者の立場に立ったサービスを実施した。利用者からの要望についても可能なものについては、すぐに対応した。また接遇研修やあたたかい雰囲気作りへの配慮を行うなど常に利用者へのおもてなしの心を意識した接遇を実施した。 ・館報の発行、パンフレット等の配布先の再検討、ブログ・フェイスブックの更新、平日利用者を増加させるための企業説明会などのPR、会館利用例の追加作成とホームページ掲載など、より充実した広報活動を実施した。 <p>青少年健全育成事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理事業だけでなく自主財源による事業も行い、群馬県の次代を担う青少年の健全育成や指導者・ボランティアの養成、団体の育成・支援等の推進を図るなど、総合的な視点で事業を計画・実施した。その結果、市町村教育委員会や大学・ボランティア・団体等との連携が深まり、募集定員を超える参加者や指導者の協力を得られるようになってきている。
評価委員会の年度評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営や施設等の維持管理等については、適切に実施されている。 ・広報や自主事業等が積極的に行われており、利用者数はH18年度の指定管理者制度開始以来過去2番目に多かった。 ・引き続き、利用者のニーズの把握に努め、要望があった場合には、迅速な対応に努めるとともに、利用拡大に向けた取り組みを強化してほしい。

注) 「個別項目ごとの評価」の評価項目は、施設及び利用の形態に応じて、選定時の審査項目、仕様書・事業計画等と整合性を持った項目を設定する。